

清流の里

発行：興田市民センター 電話 / 74-2201

雨の目が続きますね…市民センターで心も体もリフレッシュ (^^) ♪

陶芸教室&ヨガ教室 参加者大募集!



おきた陶芸教室

ろくろを使い普段使いできる小鉢などを制作します。全2回の講座です。

日時 1回目 9月2日(金)
2回目 9月5日(月)

どちらも9時30分～12時

講師 陶芸サークル「はらっぱの会」
熊谷 繁弘 先生

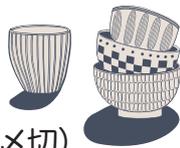
場所 大東開発センター 食堂

参加費 2,000円(材料費)

定員 先着15名(定員になり次第メ切)

持ち物 エプロン・汚してもよい手ぬぐい
汚してもよいタオル

申込み 8月1日(月)8時30分から受付開始。
12日(金)までに興田市民センターへ
お電話下さい。(☎74-2201)



第1回 はじめてのヨガ教室

対象 18歳以上の方 15名

日時 9月9日(金) 10時～11時30分

第2回 親子でヨガ教室

対象 5～12歳(小学6年生)の親子 8組

日時 9月17日(土) 10時～11時

----- どちらの回も共通 ↓ -----

講師 セルフケアサポーター 小野寺 留美 先生

場所 大東開発センター 和室

持ち物 動きやすい服装、タオル、飲み物

ヨガマット※大きいバスタオルで代用可

参加費 無料

申込み 前日までに興田市民センターへ
お電話下さい。(☎74-2201)

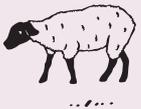
共催 興田体育協会



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を延期・中止とする場合がございます。予めご了承ください。

ひつじで地域おこし!? 耕作放棄地の新たな活用!

地域づくり視察研修 ~下大桑ヒツジ飼育者の会~



参加者へ説明をする
桂田勝浩さん

7月17日(日)に、興田市民センター、興田地区振興会、興田地区自治公民館等連絡協議会の主催で地域づくり視察研修を実施し、18名の参加者がありました。一関市萩荘の下大桑ヒツジ飼育者の会を訪れ、事務局の桂田勝浩さんから、羊飼育による地域づくりについてのお話をいただき、実際に羊の放牧地を見学しました。羊飼育のきっかけは、萩荘地区における耕作放棄地の草刈り作業の手間を、羊が雑草を食べることにより軽減できないか、というところでした。5頭から始まった羊の飼育ですが、現在は40頭にまで増えているそう。耕作放棄地では足りなくなり旧県立一関農業高校の実習用放牧地も活用し、放牧を行っています。除草効果だけでなく、毛はホームスパンに、肉は評価の高い国産羊肉になり、その活動は多岐にわたります。今後は、ソーセージ等の加工品も展開するそうです。参加者からは、羊の管理方法や、熊や猪等の有害獣へもたらす影響など、関心の高さが伺える質問が出されました。



放牧されているヒツジ(黒い顔が特長のサフォーグ種)

正しい剪定方法を学ぶ 剪定教室でお庭すっきり♪

6月28日(火)に、開発センター庭で剪定教室を開催しました。一級造園技能士の鈴木隆廣氏(鈴木造園代表)を講師に、12名の参加者の皆様と道具の使い方や植物ごとの剪定の基本を学びました。当日は開始直後、生憎の雨でしたが、ロビーにて、松や楓の枝木を教材に、切るべき場所、残す場所を丁寧に教えて頂きました。後半は雨も上がり、開発センターの庭木を教材に実演を交えながら整えていただきました。「道具の研ぎ方が分かってよかった」「松の剪定がとても良かった。次回はツツジを教わりたい」など、次回へ向けた意欲的な感想を頂きました。



今年もイマドキな願い事がずらり 子ども教室七夕まつり

7月7日(木)に、興田地区放課後子ども教室の参加児童と指導員さんと、開発センターロビーに展示された大きな笹に手作りの七夕飾りで飾り付けをしました。子どもたちの願い事を書いた短冊に、来館者の皆さんも微笑ましく見学していました。皆の願い事が叶いますように…



- 木にふれるということ -

高難易度に挑戦！木工教室

7月8日(金)に、大東開発センター集会室で木工教室が開かれ、子どもたちを中心に約50名が参加しました。東磐地区技能士会の先生に教わりながら、キッチンラック、新聞ストッカーを制作しました。毎年恒例となった木工教室ですが、今年はあえて難しい題材に挑戦！釘が曲がってしまったり、ずれてしまったりしましたが、全員最後まで頑張って完成させました。高学年の子どもたちは「難しかったけれど、作りがいがあった楽しかった」と話してくれました♪



カンナがけにも挑戦！



慎重に釘を打ち込んで…

興田小学校高学年・中学校全生徒

小学校前の転落防止柵清掃



7月1日(金)に、興田中学校、興田小学校の児童生徒が小学校前の転落防止柵を清掃しました。中学生が全校生徒50名、

小学校からは高学年の26名が参加しました。この日はとても気温が高く、日差しの強い中での作業となりましたが、中学生をリーダーとした小中混合の班ごとに、声をかけあって真摯に取り組みました。最後の閉会式では、「ピカピカになって嬉しかった」「『興田中学校』としては最後だけれど、地域貢献できて良かった」等、代表者からの感想発表がありました。校長先生からは、「興田中学校としては最後となるが、興田の住民であることはこれからも変わらない。いろんな地域の方が支えて下さっている、その気持ちを忘れずにいてほしい」というお話があり、最後に小学生、中学生が向かい合い、お互いに御礼を伝えました。中学生さんのリーダーシップが光る、素晴らしい取り組みでした。

交通安全をよびかけ

7月14日(木)に、交通安全協会興田分会・母の会、千厩警察署興田駐在所主催で、八日町交差点の信号待ち車両を対象



安全運転をお願いするチラシとお菓子を渡します

に、交通安全呼掛け運動が行われました。興田中学校からは生徒会3年生の6名が参加し、運転手の皆さんへ「お仕事お疲れ様です」の挨拶と共に、直接安全運転を呼びかけました。生徒会長の佐々木大輝さんは「普段こんな機会はないので、地域のためとなる良い経験となった」と話してくれました。最後に、交通安全協会の榎野さんから「今回たくさんのドライバーと触れ合ってみて、いろんな人がいると分かったと思う。様々な視点を持ち、若い力で交通安全を盛り上げてほしい」という挨拶と、参加してくれた感謝の思いが伝えられました。



参加した生徒会3年生のみなさんおつかれさまでした！ナイスジョブ！

3年ぶりに三陸復興支援研修へ!



7月14日(木)に興田婦人会と共催で三陸復興支援研修を開催しました。この事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2年間中止となっていました。今年度は感染症対策に注力し、参加者19名で釜石市～陸前高田市へ赴きました。

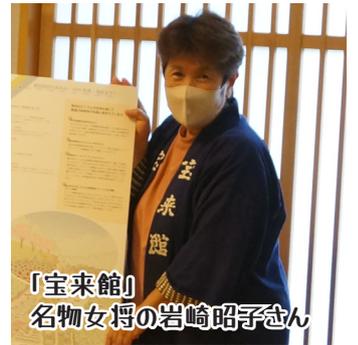
釜石市は2019年にアジアで初開催されたラグビーワールドカップ2019日本大会の復興のシンボルとして開催都市に立候補し、2015年3月に開催都市に選ばれました。国内12の開催都市で唯一スタジアムを持たなかった釜石市は、東日本大震災からの復興を目指し「釜石市鶴住居復興スタジアム」を新たに整備しました。この夢の舞台は、大震災の際、全生徒が手に手を取って逃げ助かった釜石東中学校、鶴住居小学校の跡地に建設されています。研修では、日本代表選手が実際に使用したロッカールームや、スタ



大迫力の鶴住居復興スタジアム

ジアムの建設にあたり、釜石市の方々、そして世界からたくさんの支援があった様子などを見学しました。

スタジアムから車ですぐの老舗旅館『宝来館』では、名物女将の岩崎昭子さんから、東日本大震災の際の体験談を聞きました。地元のおばあちゃんから、「建物がいくら丈夫でも、津波が来たら上(山)に逃げるしかない」と言われていたことから、旅館の裏に避難道を整備した岩崎さん。まさか本当にその道を使って逃げる日が来ることは想定していなかったそうです。震災の際、避難道が詰まってしまい、お客さんを逃がすため自身は一度、津波に攫われたそう。現在は、地元の森林組合と協力し、車いすでも避難できる立派な避難道が整備されました。また、宝来館が避難所となった際の映像を流しながら、当時の様子を教えて下さいました。「最終的に手が回らくなり「宝来館は町内会に任せます!」と宣言をし、みんながとにかく自分ができることをやって下さいました」明るく笑顔を絶やさない岩崎さんから学ぶことの多い講和でした。



『宝来館』名物女将の岩崎昭子さん

最後は陸前高田市の東日本大震災津波伝承館を見学し、今一度復興について考える良い機会となりました。

今後の予定 興田地区

7月28日	金	学びの土曜塾〈夏休み編〉 大東開発センター 9時30分～16時
8月6日	土	おきた夏まつり2022 大東開発センター駐車場 17時～21時
8月11日	木	川遊び教室 大東開発センター集合 8時20分～12時
8月26日	金	胃がん検診・大腸がん検診 大東コミュニティセンター 6時30分～8時30分
8月30日	火	子宮がん検診 大東コミュニティセンター 13時～14時



6月30日の早朝に、大東開発センター周辺を、興田婦人会の皆さんが草取りをしてくださいました。おかげさまで安全に利用しやすい環境となりました。ありがとうございました♡

興田川柳同好会7月作品
お題「自由」 互選

垂乳根の汗疹が悩みの還暦女
越路

草刈りを休む雨降り草啜う
越モ賢葉建そ一三

カルテにも書いてくれよかばね病み
越モ賢葉建そ一三

戦争の箍ゆるめるな選挙せん
越モ賢葉建そ一三

謬伝ニ謬誤謬論謬見ズ謬計ノ国
越モ賢葉建そ一三

今日も又草と格闘して果てる
越モ賢葉建そ一三

若き日に川で洗濯してた母
越モ賢葉建そ一三

敵ながら天晴れ畑地覆う草
越モ賢葉建そ一三